

# 第1回田村市立船引小学校運営協議会

日時：令和3年6月17日（木）18:00～19:20

場所：田村市立船引小学校 校長室

## 1 開会

## 2 委員の任命及び教育委員会あいさつ

根本賢一指導主事より委員の任命

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| ・船引小学校歴代PTA会長                 | 赤石澤 祐一 様 |
| ・前教職員                         | 佐久間由美子 様 |
| ・すみれデイサービス所長                  | 佐久間 崇 様  |
| ・前船引中学校長                      | 高橋 秀章 様  |
| ・田村市学校支援地域本部船引地域教育協議会コーディネーター | 佐藤 健 様   |
| ・令和2年度船引小学校PTA会長（R3顧問）        | 箭内 貴之 様  |
| ・校長                           | 安生 昌弘    |

あいさつ

- ・全国に7601校の運営協議会があり、常葉に新たに設置されたばかり。
- ・積極的な関わりにより、よりよい教育活動の場にしてほしい。

## 3 本校校長挨拶

全国的に見ると福島県では学校運営協議会は少ない。国によるとまだ努力義務となっている。

船引中学区は児童生徒数が多いため、船引小だけの学校協議会となっている。

建設的なご意見を頂きたい。

## 4 委員の自己紹介

## 5 説明

(1) 学校運営協議会制度について（これまでの経緯等）（校長より）

- ・地域運営学校といい、校長が一人で運営をしていくわけではなく、この協議会において、様々な協議を通して学校を運営していく。
- ・福島県では、三春小が初めて実施した学校である。その時に教務主任として取り組んだことがある。
- ・地域の視点から、感じたことなどを意見として出してほしい。

## (2) 船引小学校運営協議会設置要綱の確認

- ・第3条「目標を共有し、責任を分かち合う」という部分が肝になる。また、責任も皆さんと分かち合うことになる。
- ・第4条の1, 3は決まっているが、その他は6名以内で構成となる。
- ・第7条はこれから決める会長が議長となって話を進めていただくことになる。
- ・第8条では、校長が必要とする職員ということで主幹教諭を入れている。
- ・第10条では、これから話す学校運営についてご意見をいただき修正をしていく。学校運営に関わる組織となるので、責任は重くなる。

## 6 会長選出

会長：箭内 貴之 様

副会長：高橋 秀章 様

## 7 協議

### (1) 船引小学校の今年度の学校運営の概要について

○本校の教育目標及び学校運営についての説明

【別紙参照（要項3ページより）】

#### 教育目標について

校長が小学生の時から教育目標は多分変わっていない。多分というのは覚えていないから。今の子どもたちに「学校目標は何？」聞いても覚えていなかった。そこで、やさしく・かしこく・たくましくと分かりやすく頭文字をとって「やかた」と覚えやすくし、目標としている。

「本気と礼節の教育」をスローガンに先生方にはお願いをしている。

一年間を通してこの教育活動が適正に行われていたのかどうかを見て欲しい。その際、学校として評価を出すことになるので、その評価が適切なのかどうかも判断して欲しい。

【別紙参照（要項4ページより）】

#### 「プロジェクトF」について

教科担任制は次年度から本格化する前倒しとして行っている。また、外国語推進リーダーが3年生以上の外国語科、外国語活動を行っている。また、5,6学年は理科を教務が行っている。さらに学年の中で、得意教科を生かしながら違う学級においても授業を行うことを行っている。学年の中でもそれぞれの得意教科を進んで行き、学年の中でもリードして授業を行う主管制を行っている。

タブレットを活用したドリルを実施している。

研究教科は昨年度は算数科1教科であったが、今年度は6教科行う。明日（6月18日）が初めての研究授業となる。

【別紙参照（要項5～15ページより）】

- ・保護者向けのお便りについて（船引小学校日より、船小ハイブリッドパワー）
- ・タブレットなどに関わる時間が本校でも大変多い。そこを心配している部分がある。
- ・このようなお便りをどのくらい見てもらえているかどうか心配であった。しかし、福島民報に連絡して下さった方がいたようで、反応があったことがうれしく思う。

○質疑等

A 委員：船小の強さと弱さについてどう考えているか

校長：子どもたちは、いわゆる子どもらしい子どもたちであるが、まだまだ成長できるなどと思えるところが弱さ。バイタリティがある所が強さである。

教職員は、ゆとりがなくやっているところが弱さ。持っている力、ポテンシャルが高い先生が多いのでそれが発揮できるとよい。一つの学年の人数が多いので、人数の多さを生かしていけるところが強みになっていると思う。

B 委員：大規模校と少人数の学校では全然違うように感じる。大規模校ならではのきめ細やかな指導というのはどういったものがあるか。

校長：30人学級の児童を見るのと12人ぐらいの人数を見るのではきめ細やかという点ではやはり違う。しかし、それは言い訳にはならない。全体に指示しながらも一人一人につなげるようにしていきたい。

(2) 学校の感染症対策による教育活動の変更について（教頭より）

- ・単元を入れ替えて学習を進めている。
- ・リスクの高い学習の感染症対策。手指消毒はもちろんであるが、話し合いの時間の精選などにより学習を進めている。
- ・歌唱については距離を取ったり、マスクをしっかりさせたりしている。
- ・運動会については5月22日から10月15日の平日に設定した。10月だから安心だ、ということはいえないが、内容の工夫や時間の工夫を行うなど対策をしていきたい。子どもたちの頑張りをどのようにして保護者に伝えるかを考えながら実施していきたい。
- ・わくわく発表会については中止にした。これまでの方法を考えるとどうしても密になることが想定されるため中止とした。子どもたちの頑張りについては授業参観において見てもらえるようにする。
- ・6年生の修学旅行については、会津の感染状況を鑑みて11月24、25日に延期としている。
- ・5年生の宿泊学習は他の学校等と関わりが少ないと判断し、予定通りいくことと

しているが、行くかどうかの判断は保護者に任せる。

○質疑

特になし

(3) 今後の協議会の見通しについて

第1回 6月17日(木) 18時

第2回 9月17日(金) 18時

第3回 12月 2日(木) 13時 ご都合を聞いて先生方の授業を見ていただきたい。

第4回 2月22日(火) 18時 令和4年度の教育課程を見ていただきたい。また、  
学校評価を見て学校が自己評価を行うので、それが適  
正か見ていただきたい。

○質疑

A委員：授業参観についてはもっと早い時期がよい。12月では学校評価アンケートは終わっているのではないか。もっと早い時期であればこちらも先生方と子どもとの関わり等を見ていろいろと意見が言える時間ができると思う。

教頭：では第2回授業参観ではどうか。しかし、ここで決定とすることはできないので、次回までには通知したい。

校長：時間については13時からとしていたが、様々な授業を見ていただきたいので、その他の授業参観の時であったり、校内の研究授業のときなどに通知をしたりするので、都合がよい時に来ていただきたい。

○その他

校長：学校運営協議会について「ハイブリッドパワー」に載せても良いか。

全員：よい。

校長：校庭と体育館を学年で配当しているが、今は学年から1人出して見回りをしてもらっているが、ボランティアを募っていただくのはどうか。現在ボランティアの方が高齢でなかなか集まらないので、何かいいアイデアはないか。

B委員：リストを見せていただいたが、絶対数が少ないのが実情であると感じた。また80代の人が多かったので、もう少し若い人たちにシフトできるとよいと感じた。

C委員：どういう形で依頼をするか。働いていない、時間の融通の利く方たちに募るにはどうすればよいか。次回までに考えていただきたい。

校長：次回授業参観が7月13日になるので、参加できる方はよろしくお願ひします。

## 8 閉会

- C 委員：学校の現状と運営ビジョンがよく分かった。よい学校になるように協力していきたい。
- D 委員：先生方の負担がどんどん増えてきている。保護者は言うだけ言って行動に移さない人が多い。やはり、地域で子どもたちを育てていくという姿勢が弱まっている。今の若い人たちとはやりたくないと思っている高齢者の方も多。先生方には学校の中のことだけに集中してもらえらるような環境にしていけるようにしたい。そのために我々が橋渡しのような存在になっていけるようにしたい。
- B 委員：我々もまだまだ勉強しないといけない。嫁も教師をやっているの、負担を減らすというのは大賛成。負担を減らす観点で考えていきたい。
- E 委員：ボランティアを具体的に活用できる方法を考えていきたい。どこも人手不足であり、いろいろと掛け持ちをしている人が多い。何かできることを考えていきたい。
- A 委員：たくさん話したので大丈夫。